

2 具体的な提案

1. 『丸の内仲通り』を自転車とともに演出

通りの中に自転車を位置づけ、自転車走行空間や駐輪スペースを設けるとともに、むしろ自転車の存在が境界の演出になるようなショッピングストリートデザインする。

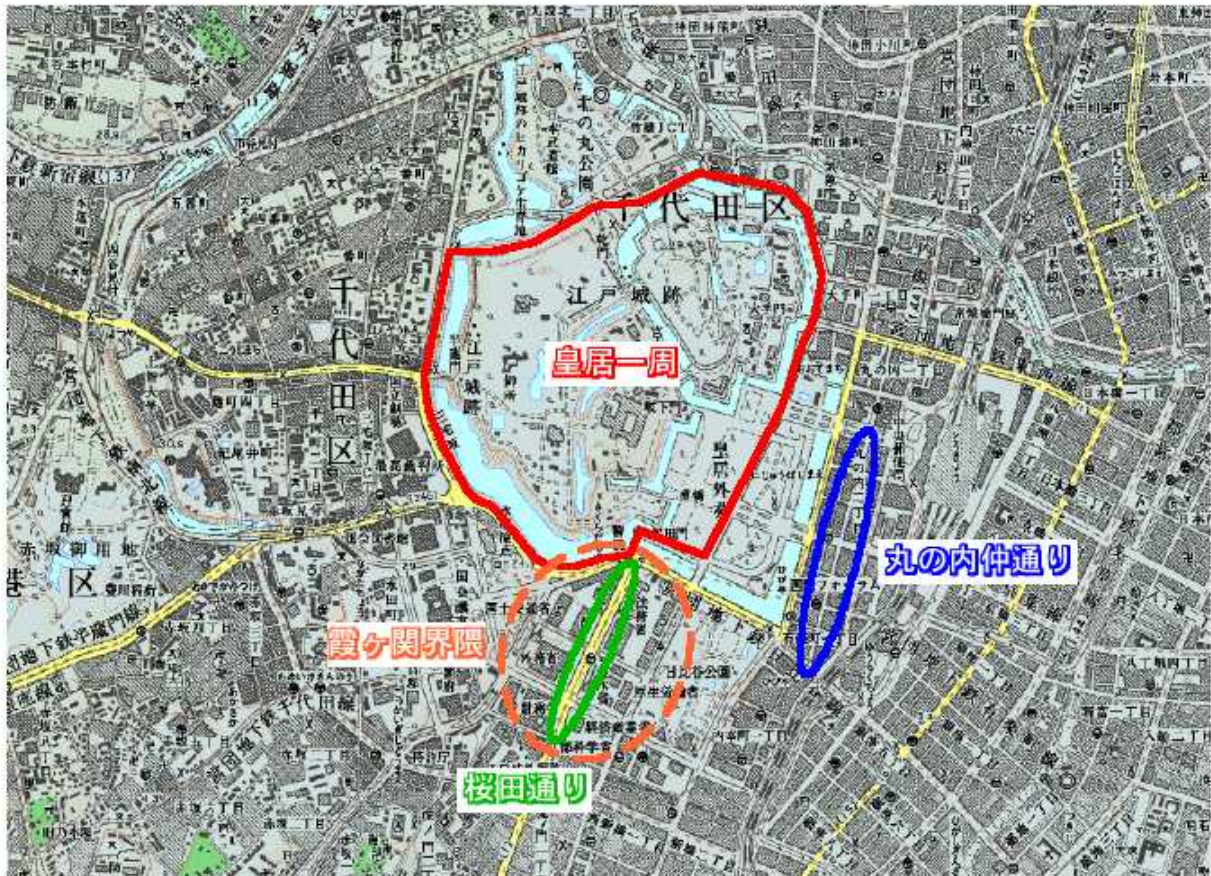
2. 自転車でも『皇居一周』を楽しもう

誰もが皇居一周を楽しめるように、歩行者と自転車が譲り合いながら利用しやすい歩道およびその周辺環境づくりを行う。

3. 自転車走行空間のお手本を『霞ヶ関境界』から

霞ヶ関境界で、日本の自転車走行空間のお手本となるような道路整備を行い、都市部の自転車走行空間のモデルとして発信する。

位置図



地図ベース：国土院の発行 縦横比率200000(地図縮尺)、縦横比率25000(地図縮尺)、縦横比率25000(地名：公共施設)、縦横比率250mメッシュ(0.5m(尺)、縦横比率50mメッシュ(0.5m)) 地図資料：山形県庁等 縮尺：なし(200000)

【具体的な提案】 1. 『丸の内仲通り』を自転車とともに演出

現況と課題

最近相次いでオープンしている大型商業施設にあわせて、ショッピングストリートとしての整備が進む『丸の内仲通り』。石畳と並木道の歩道、アートの配置とオシャレな通りを演出しているが、自転車への視点は全く抜け落ちていない。車道は一方通行（2車線）で、広い歩道もあるが、自転車走行空間は特に考えられておらず、歩行者と混在している。歩道の路面は石畳のため、自転車では走行しにくい。駐輪場はほとんどなく、通りには駐輪禁止を警告する大きな立て札がいかめしく立つ。一方、『丸ビル』前には自転車が雑多な形で駐輪し、景観として見苦しい印象を受ける。



丸ビルの角には乱雑な駐輪が。せっかくのオシャレなベンチも浮いた感じ。



小さい字の張り紙で、「駐輪場の利用を希望される方は、下記までお問い合わせ下さい」と丸の内駐輪場の電話番号が書かれている。電話して利用を問い合わせ、地下駐輪場を使わせてもらう面倒な仕組み。

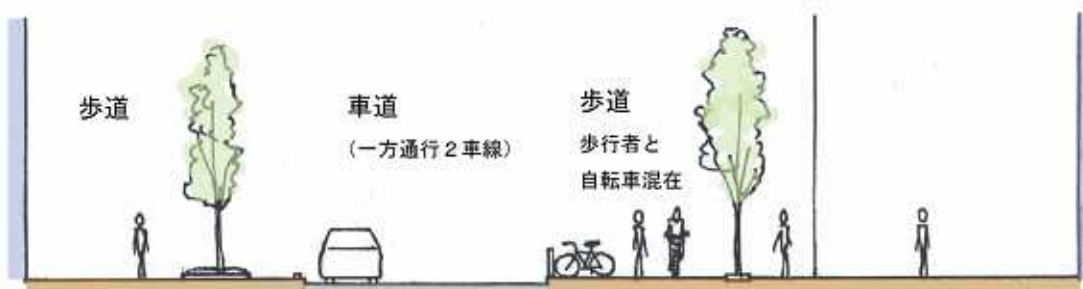


歩行者と混在する歩道



丸ビルの南西角は歩道が広く、ベンチ、案内板、サインなどストリートの演出が試みられている。

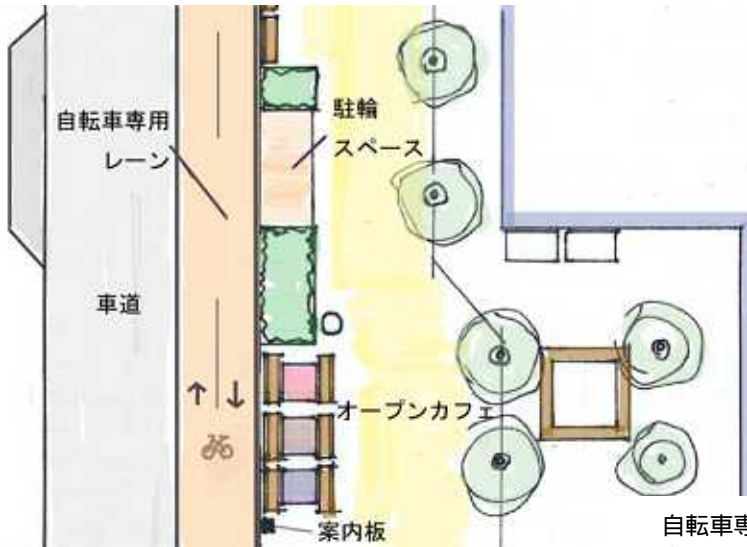
現況の道路構成



整備イメージ

通りの中に自転車を位置づけ、自転車走行空間や駐輪スペースを設けるとともに、むしろ自転車の存在が界隈の演出になるようなショッピングストリートデザインする。

- ・自転車走行空間の確保：自転車専用レーンを設け、歩行者・自動車と明確に分離する。
- ・駐輪施設：丸ビルなど大規模商業施設には、滞在型の客の利用を想定して一定台数の駐輪施設を設ける。また短時間の利用者のために、通りのところどころに簡易でオシャレな駐輪ラックを設置。
- ・ストリートの演出：歩道幅員が広いところでは、通りにカフェを設置し、歩行者空間・カフェ・自転車走行帯・車道の順に配置する。道路を案内するサインも自転車専用レーンと併せてデザイン。



駐輪スペース
気軽に駐輪できるスペース。柵があるので乱雑になりにくい。(カッセル)
写真提供 / 湯本登

自転車専用道とオープンカフェ

屋外にカフェが連なり、自転車専用道と歩道で構成された道路。カフェは車のスピードや排気ガスにわずらわされることもなく快適。(ミュンヘン) 写真提供 / GEO POTTERING

歩道と分離された自転車専用道

歩道とも車道とも分離された双方向の自転車専用レーン。(アムステルダム) 写真提供 / 湯本登



そしてさらに...

日曜日は車道通行止にしてパレスサイクリングと連続

丸の内仲通りは、平日昼12時～1時は自動車乗り入れ禁止になり、歩行者と自転車の専用空間になっています。自動車交通の需要が減少する週末こそ終日自動車乗り入れ禁止にして、買い物に来る人や自転車を楽しむ人の空間に解放したらどうでしょうか。

日曜日に開催されるパレスサイクリングとつなげ、サイクリングとショッピング・休憩を楽しめるルートにすると、パレスサイクリングもさらに楽しくなりそうです。

【具体的な提案】 2. 自転車でも『皇居一周』を楽しもう

現況と課題

高層ビル街や密集市街地が広がる都心にあって、皇居の水と緑は豊かな自然や広い空を感じさせてくれる貴重な空間だ。皇居東御苑など一般に開放されている公園もあり、都心部の憩いの場所となっている。この皇居の緑を眺めながら一周するコースは千代田サイクリングのメインイベントといえるが、現状は必ずしも自転車で快適に走れるわけではない。車道の多くは交通量の多い幹線道路であり、一方歩道はかなり狭いところもあり、また散策やジョギングを楽しむ歩行者も多く、車と自転車、歩行者が共存しながらいかに快適な皇居一周を実現するかが課題である。

代官町通り歩道（右）

歩道はかなり狭い。反時計回りの場合は下り坂になり、スピードもやすいことから、自転車は歩行者に十分注意が必要。減速・歩行者注意を促すサインがほしい。



千鳥ヶ淵公園前歩道

歩道幅員はあまり広くない。公園に入って半蔵濠の景観を楽しみたい人は、公園内を歩行者に十分注意して低速で走る（または押す）。駆け抜けたい人は、公園前の歩道の車道側を、やはり歩行者に注意しながら走る。基本は自転車は車道側、歩行者は公園側であることがわかるように、サイン等で表示したい。



三宅坂

桜田濠の水と緑、遠景の都心ビル群の景観が楽しめる。歩道幅員はある程度あり、車道側を自転車が走るよう舗装上にペイントしたい。



皇居東御苑入口
 緑豊かな落ち着いた休憩スポット。利用する人たちのために駐輪スペースがほしい。



二重橋前
 皇居の観光スタート地点。広い歩道とスペースがあり、自転車は適当に駐輪している。ラック等できちんとした駐輪ができるようにしたい。

整備イメージ

誰もが皇居一周を楽しめるように、歩行者と自転車が譲り合いながら利用しやすい歩道およびその周辺の環境づくりを行う。

- ・広めの歩道では、自転車と歩行者の走行空間を路上のペイントで分ける。幅が難しい狭い歩道では、自転車は減速させ、歩行者に注意しながら走らせる。これらの歩道の使い分けが、自転車にも歩行者にも認識されやすいようにサイン等を設置する。
- ・休憩し滞在する場として、東御苑や二重橋前には駐輪スペース（サインとラック）を設置
- ・休憩するベンチやオープンカフェがあるといい。
- ・コースサインを設置。



幅員のある歩道は明確に分離、狭い歩道は混在を表示
 群馬県の事例（写真は群馬県ホームページより）



コースサイン（案）



そしてさらに...

『パレスサイクリング』を皇居一周に拡大

1975年に始まり、毎週日曜日に皇居前の一角で行われている『パレスサイクリング』。広い車道を自転車に開放し、気持ちよく走ることができます。またレンタサイクルもあります。

さらに、皇居一周分の車道（1車線分でよい）を自転車に開放して、『皇居一周パレスサイクリング』にできれば、日本が世界に誇れる都心サイクリングコースになること間違いなし！例えば、まず5月5日の「自転車の日」に開催してみるのはいかがでしょうか。

【具体的な提案】 3. 自転車走行空間のお手本を『霞ヶ関界隈』から

現況と課題

霞ヶ関界隈の官庁街。広い歩道の中で、白線から車道寄りが自転車通行可のレーンとされている。しかし、歩行者は気にせずレーン上を歩き、交差点や地下鉄出入口付近ではレーンが突然なくなってしまうなど、自転車が安心して快適に走れる空間にはなっていない。また、駐輪スペースは特になく、乱雑な駐輪がみられる一方で、広いスペースを柵で覆って駐輪禁止にするなど、自転車利用を体系的に考えていないことがよくわかる。こうして、この自転車通行可のレーンは歩行者にも自転車に乗る人にも無視され続け、今や路上にペイントされた表示すら消えかかっている。



自転車走行可のレーンと歩行者レーンが色分けされているが、歩行者は気にしない。交差点では自転車走行レーンはなくなる。



地下鉄出入口でも自転車走行レーンは突然消える。



路上の自転車マークも風前の灯！



地下鉄出入口付近では、オートバイや自転車が秩序なく駐輪



一方、歩道の広いスペースはきっちり駐輪禁止。何のためのスペースだろうか。この一部を駐輪スペースにはできないものか。

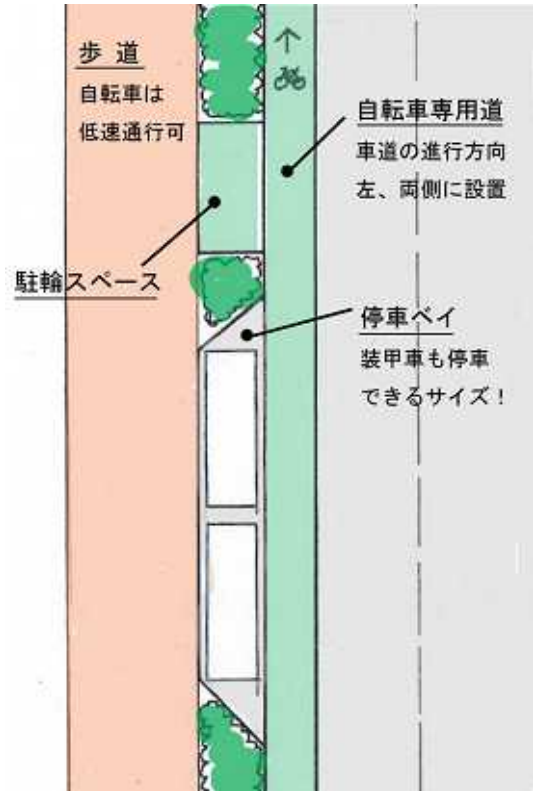
整備イメージ

国土交通省では、「自転車」は環境にやさしく、便利で身近な交通手段であるとして、自転車活用施策・自転車利用環境の改善事業を進めようとしている（国土交通省道路局ホームページ参照）。そのお膝元にある霞ヶ関界隈で、日本の自転車走行空間のお手本となるような道路整備を行い、都市部の自転車走行空間のモデルとして発信する。

- ・車道の左端に自転車専用レーンを設け、歩道は基本的に歩行者とし、自転車は歩道では減速または押す。駐停車車両が自転車専用レーンを妨げないよう、歩道側に欠き込んで「停車ベイ」を設置。
- ・交差点では、左折車両に巻き込まれないように、自動車より前で停車できるようにしたり、自転車専用信号で先に自転車を直進させるなど配慮する。
- ・歩道上に駐輪スペースを設ける。きちんと駐輪するようラック（自転車を立てかける柵）を設置。
- ・自転車専用道や駐輪スペースの路面の色・サイン・表示などを全国共通とし、きちんとペイント。



車道側に設置された自転車レーン
（アムステルダム） 写真提供/湯本登



自転車専用信号（アムステルダム）
写真提供 / GEO POTTERING
左折車より先に発進させるなど、
自転車の安全を確保。



駐輪スペースのサイン（案）
駐輪場とは色を変え（緑など）自
転車専用レーンと同じ色に。



そしてさらに...
『首相官邸前の坂道』を自転車開放道路に
霞ヶ関のお隣、永田町の首相官邸前です。
車がほとんど通らないこの坂道を、国会議員や霞ヶ関の
国家公務員、そして自転車ファンのために自転車開放道路
（総理の車は通行可）にしたらどうでしょうか。自転車で
汗を流すのは健康とストレス解消、次の選挙の心配を忘れ
るのにいいし、何よりもお金がかかりません。環境への配
慮と健康をアピールできそうですよ。